

事務事業名	空き家調査事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
政策名	総合計画体系 (I) 市民と行政の協働によるまちづくり《住民自治》	所属G	地域振興グループ	課長名	小川 忍
施策名	(02) 定住・交流の推進	担当者名	鳥谷健二	電話番号 (内線)	0854-40-1013 3518
基本事業名	(005) 移住のための情報提供・相談の充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業 0:1 1:0 0:5 6:5 0:4	空き家調査事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)	市内全域の空き家の実態把握を行うとともに、「雲南市空き家バンク制度(空き家情報活用制度)」に登録可能な物件情報を整理し、定住を希望される方に提供可能な体制を整えるため、空き家調査及び登録物件のデータベース化を実施した。(国の緊急雇用創出事業)	田舎志向の高まりから空き家ニーズが増加している一方で、定住希望者へ提供可能な空き家情報が不足してきたため、H23年度一年間をかけて市内全域一斉に空き家調査を実施することとした。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
<ul style="list-style-type: none"> 賃金 6,752千円 (調査員6名分) 共済費 955千円 (社会保険料) 需用費ほか 852千円 (消耗品、燃料費 等) 賃借料 1,535千円 (車両・PCリース料) 	財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 (A) 千円		0	0	10,096	0	0	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費							
空き家調査員の雇用事務、空き家調査の実施方法の調整・研修、地域との協議・調整、定例会議等の進行管理	正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計 (B) 千円				2 595			
	トータルコスト(A)+(B) 千円		0	0	12,441	0	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	空き家調査員の雇用(6名) 市内全域の空き家調査の実施 空き家バンク物件のデータベース化	ア 空き家調査件数	件			871			
	終了	イ 空き家バンク登録件数	件			85			
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	空き家	⑥ 対象指標							
	ア 空き家調査件数	件			871				
	イ								
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	空き家バンクに登録する	ア 空き家バンク登録件数	件			85			
	イ								
	ウ								
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	雲南市へ移住してもら	ア 転入者人口	人	1036	951	796			
	イ 市外から移住された人数(定住推進員が相談を受けたもの)	人	32	24	55				

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
定住希望者の空き家ニーズは非常に強いが、物件情報が不足し、相談対応に苦慮している。一方で転出・転居により空き家は増加傾向にある。空き家を活用したUIターン促進が急務となっている。	定住希望者の空き家ニーズはますます高まっていく。一方で、後継者のいない世帯が増えており、空き家増加が予想される。	定住対策、空き家対策は地域の課題ともなっており、調査に対し積極的に協力をいただいている。

事務事業名	空き家調査事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 雲南市総合計画の中で、まちづくりの推進にあたり、UIターンの促進により人材確保に取り組むこととしている。本事務事業により、空き家を活用したUIターンを推進するため、空き家の情報収集とデータベース化を図った。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 空き家を活用したUIターンの促進は、本市の定住施策に合致したものであり、雲南市の施策として実施し、定住人口の維持拡大につなげていく必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 田舎志向により定住希望者の空き家ニーズは非常に強い。一方で山間部を中心に空き家の増加が見込まれ、集落機能の低下が危惧される。空き家活用制度を充実し、UIターンの促進を図るとともに、集落支援(後継者対策)にもつなげ、定住人口の維持に努める。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 調査員を6名配置し、地域の協力を得ながら市内全域を一斉に調査した。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 人口減少がさらに進む。 空き家が増加し、地域が衰退する。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 現状以外他に事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 必要最小減のもので対応している。 国、県費の導入努めている。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 必要最小減で対応している。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 本調査は市が情報収集するものであり、その他の受益者はいない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成23年度実績から地域自主組織等との連携による、きめ細やかな情報収集が欠かせないものと認識する。地域連携をさらに強化した空き家バンク登録の推進を図る。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	●		×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地域自主組織との連携を強化し、きめ細かく情報収集を行っていく。																							